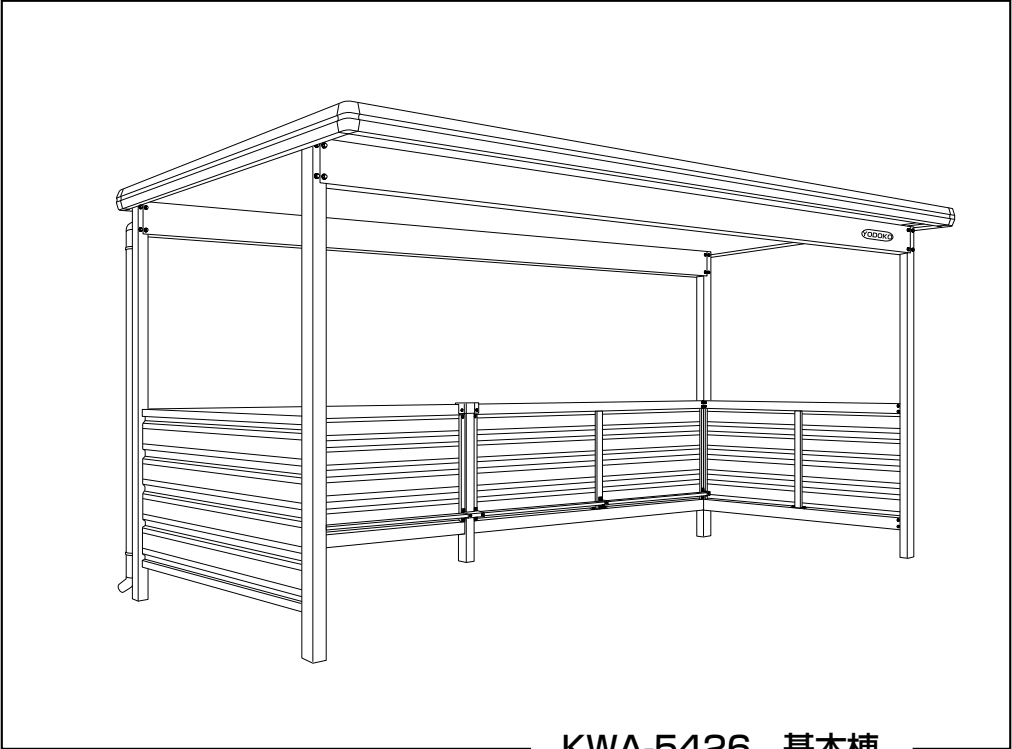


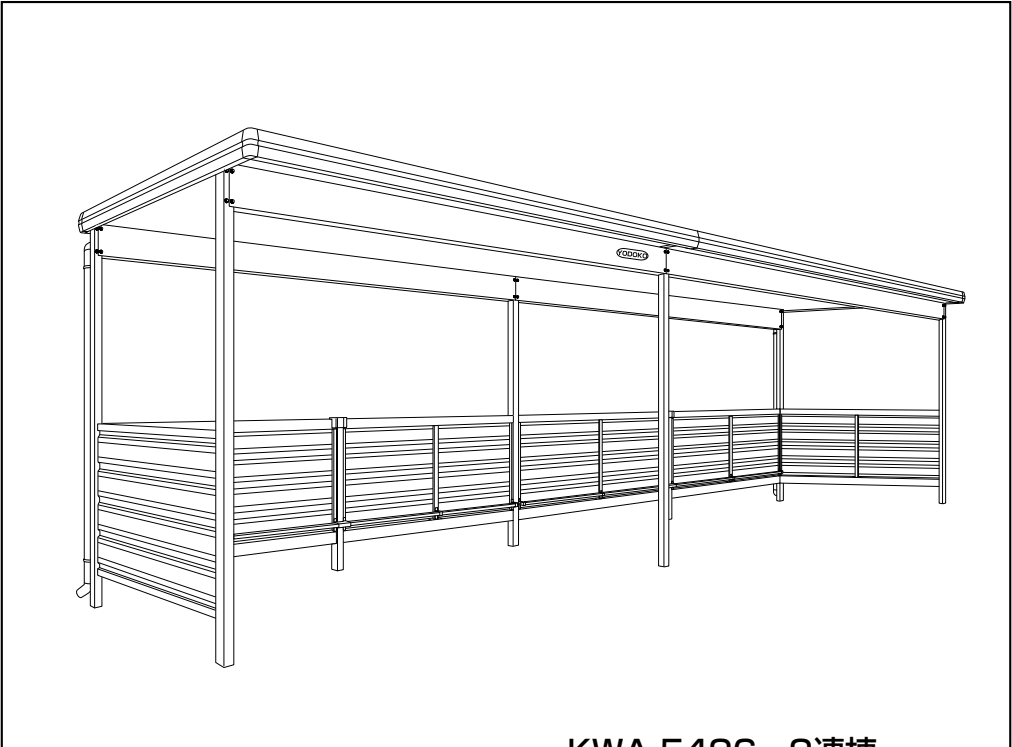
ヨド自転車置場

KWA（一般地型）組立説明書

このたびは「ヨド自転車置場」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



KWA-5426 基本棟



KWA-5426 2連棟

設置場所の制限

△注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- 避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- 崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

組立施工の際には

△注意

- 転倒防止工事を必ず行ってください。
- 仮組み用のアンカーボルト（W1/2相当）又はオールアンカー（C12相当）は別途用意してください。

お願い

- 組立の際には手袋を着用してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- 高い足場が必要ときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。

〈施工にあたって〉

- 1.まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
- 3.部材は、すべて、鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
〔安全のため必ず手袋を着用してください。〕
- 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 5.部材の組立では、ボルトの孔を合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

棚包組合せ表				
棚包名	棚包番号	棚包重量	KWA-5426	
			基本棟	追加棟
部 品	KW1-0101	16.0	1	
	KW1-0151	11.0		1
	KW1-0401	36.0	1	
	KW1-0403	36.0	1	
	KW1-0405	36.0		1
支 柱	KW1-0421	16.0	1	1
桁	KW1-0501	45.0	1	1
	KW1-0502	45.0	1	1
胴 縁	KW1-0601	37.0	1	1
	KW1-0603	27.0	1	
屋 根	KW1-0901	10.0	9	9
屋 根 部 品	KW1-0951	9.5	1	
	KW1-0953	9.0		1
壁※1	KW1-1001	18.0	1	1
	KW1-1003	14.0	1	
鼻隠し	KW1-1102	18.0	1	
	KW1-1104	18.0		1
ケラバ	KW1-1121	17.0	1	
計			22	18

※1 壁棚包にはTS（チタニウムシルバー）・OR（ハッピーオレンジ）・GR（ポップグリーン）の3色があります。色があっている事を確認してください。

棚包内容表

●部品棚包			
棚包番号	部 材 名	数量	
KW1-0101	桁 金 具	4	
	鼻隠しコーナー樹脂	4	
	止 水 バ ッ キ ン	2	
	コ ー キ ン グ	1	
	φ60丸樋回転サドル	2	
	φ60用アタッチメント	1	
	CBφ60用孔塞ぎプレート	1	
	CBφ60丸樋エルボ（70度）	3	
	接 着 剤	1	
	なベテックス5φ×16	2	
	なベタッピングビス5φ×16	4	
	鼻隠し補強金具	2	
	アンカープレートN	5	
	鉄 筋 1 0 φ × 3 5 0	5	
	ボ ル ト セ ッ ト 一式		
	C B 支 柱 キャ ッ プ	1	
	車止めブラケット（1）	4	
	CB車止めブラケット（4）	1	
	補 着 塗 料	1	
	銘 板	1	
KW1-0151	組 立 説 明 書	1	
	取 扱 説 明 書	1	
	保 証 書	1	
	桁 金 具	2	
	鼻隠し補強金具	4	
	鼻隠し接続金具	1	
	ト イ 接 続 金 具	1	
	コ ー キ ン グ	1	
	φ60丸樋回転サドル	2	
	φ60用アタッチメント	1	
	CBφ60丸樋エルボ（70度）	3	
	接 着 剤	1	
	なベテックス5φ×16	2	
	なベタッピングビス5φ×16	2	
	アンカープレートN	3	
	鉄 筋 1 0 φ × 3 5 0	3	
	ボ ル ト セ ッ ト 一式		
	C B 支 柱 キャ ッ プ	1	
	車止めブラケット（1）	2	
	CB車止めブラケット（4）	2	

●柱棚包			
棚包番号	部 材 名	数量	
KW1-0401	C B 柱 前 A 左 2 8	1	
	C B 柱 後 A 左 2 8	1	
KW1-0403	C B 柱 前 A 右 2 8	1	
	C B 柱 後 A 右 2 8	1	
KW1-0405	C B 柱 前 A 中 2 8	1	
	C B 柱 後 A 中 2 8	1	

●鼻隠し棚包			
棚包番号	部 材 名	数量	
KW1-1102	C B 鼻 隠 し 5 4 - A	1	
	C B ト イ 5 4 - A	1	
KW1-1104	壁 ト イ 1	1	
	C B 鼻 隠 し 5 4 - B	1	
KW1-1104	C B ト イ 5 4 - B	1	
	壁 ト イ 1	1	

●ケラバ棚包			
棚包番号	部 材 名	数量	
KW1-1121	C B ケ ラ バ 左 （ 右 ）	各1	
	C B 上 枠 左 （ 右 ）	各1	

オプション明かり採り屋根セット（標準屋根板と差し替え）

棚包名	棚包番号	一般地用
CB明り採り屋根	KW1-0981	1

オプションベフ付屋根（標準屋根板と差し替え）

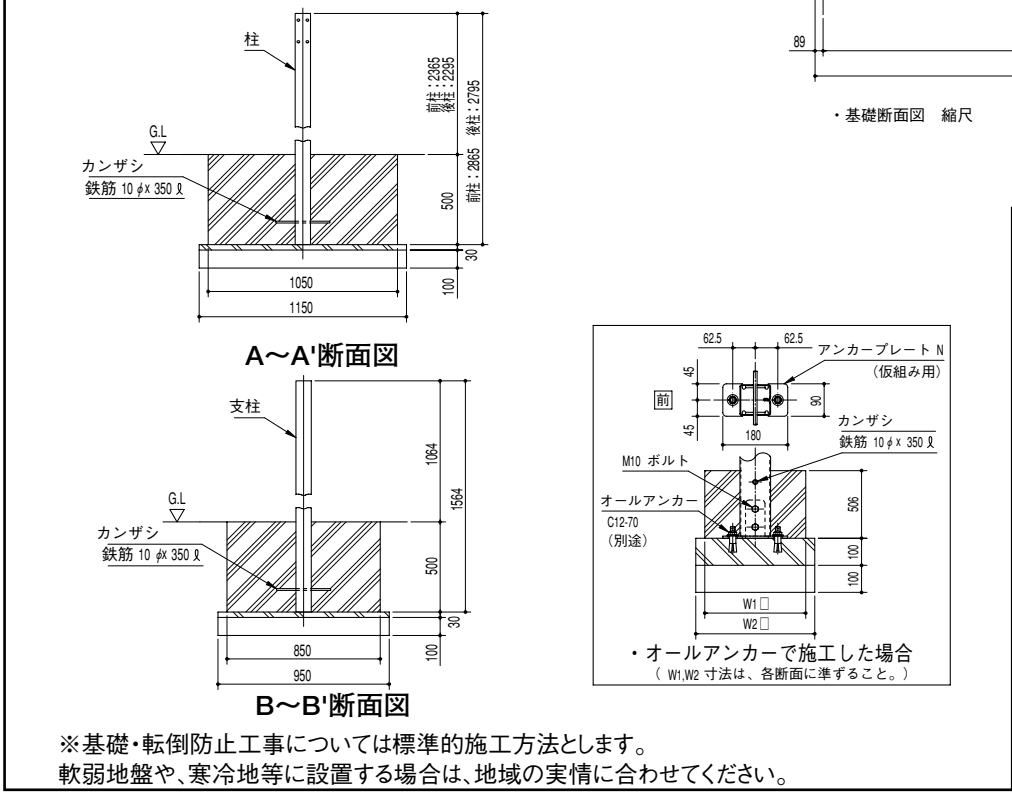
棚包名	棚包番号	KWA-5426	
		基本棟	追加棟
CB屋根Aベフ付	KW1-0911	9	9

■基礎平面図・基礎断面図

柱を建てる際に付属の仮組み用アンカープレートNを使用する場合としない場合を選択できます。
アンカープレートNを使用する場合は別途アンカーボルト（W1/2相当）又はオールアンカー（C12相当）が必要となります。

【注意】 アンカープレートNは強度部材ではありませんので、使用しても基礎寸法を小さくすることはできません。

※仮組み用アンカープレートNを使用する場合は、**2 柱の建て方** アンカープレートN孔位置図を参考にしてください。

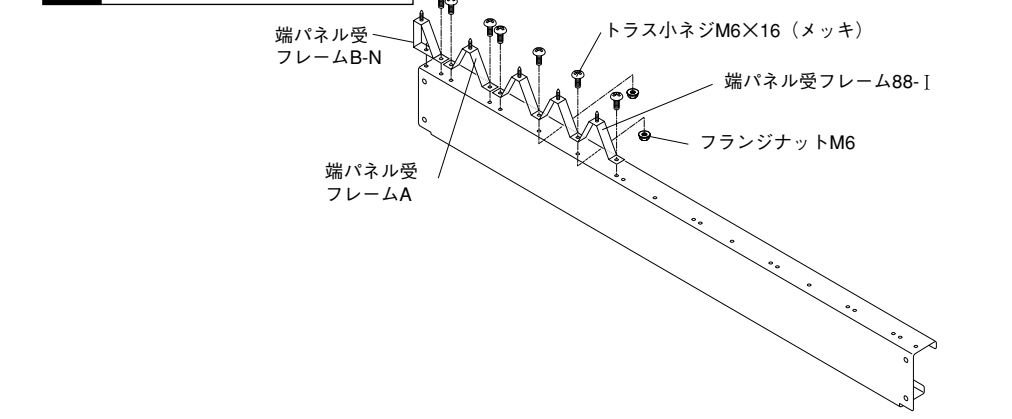


■組立に使用するボルト一覧（実物大）

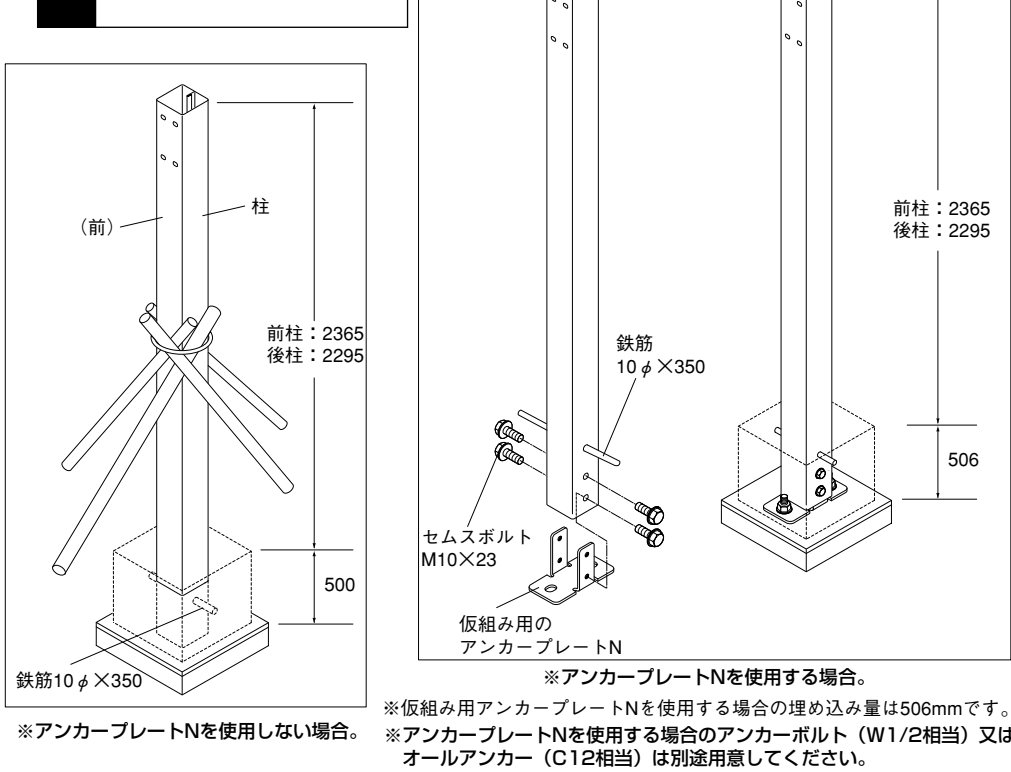


※組立て部材には保護フィルムを貼付けてあるものがあります。
必ずはがしてから組立を行ってください。

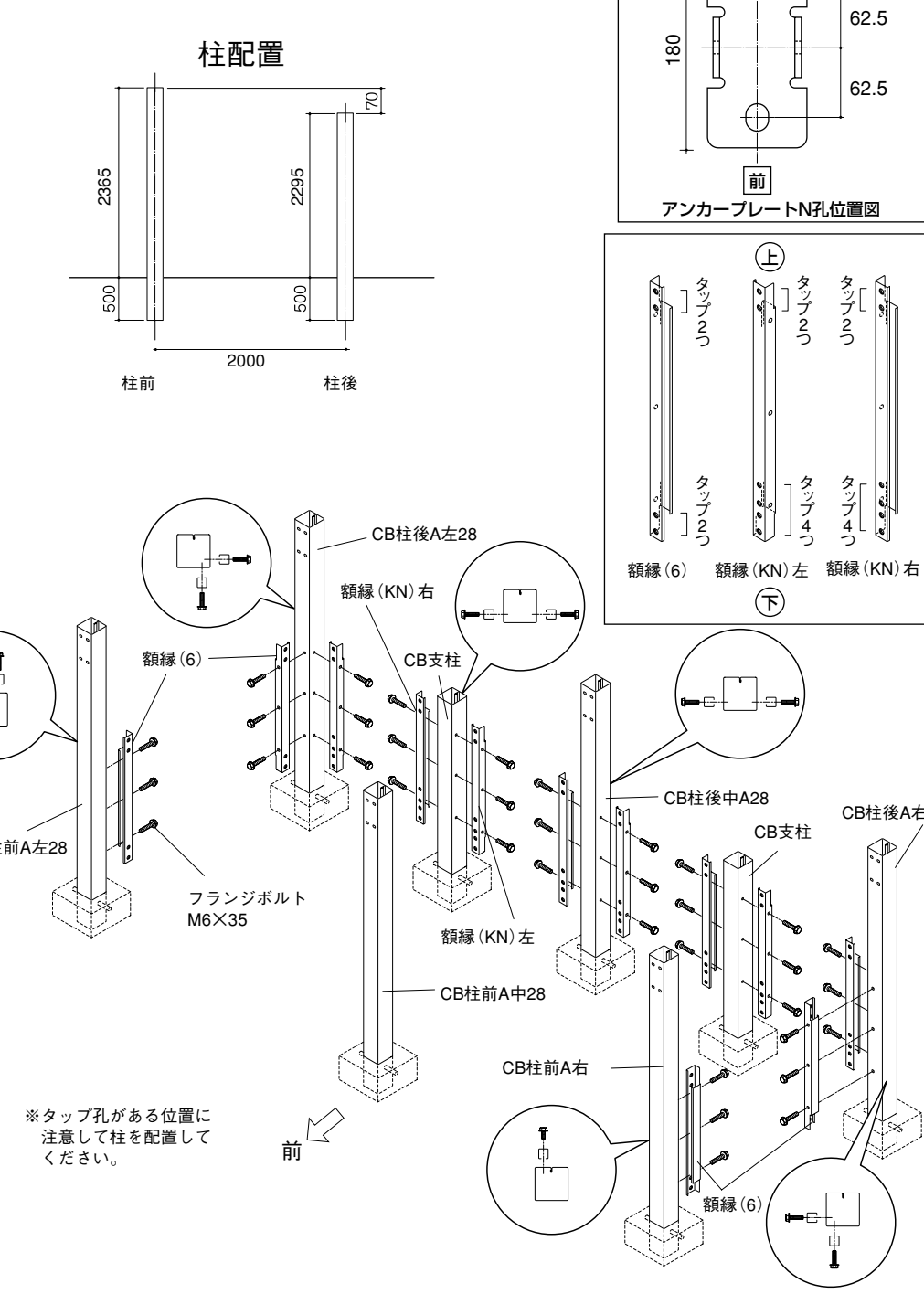
1 パネル受フレームの取付け



2 柱の建て方

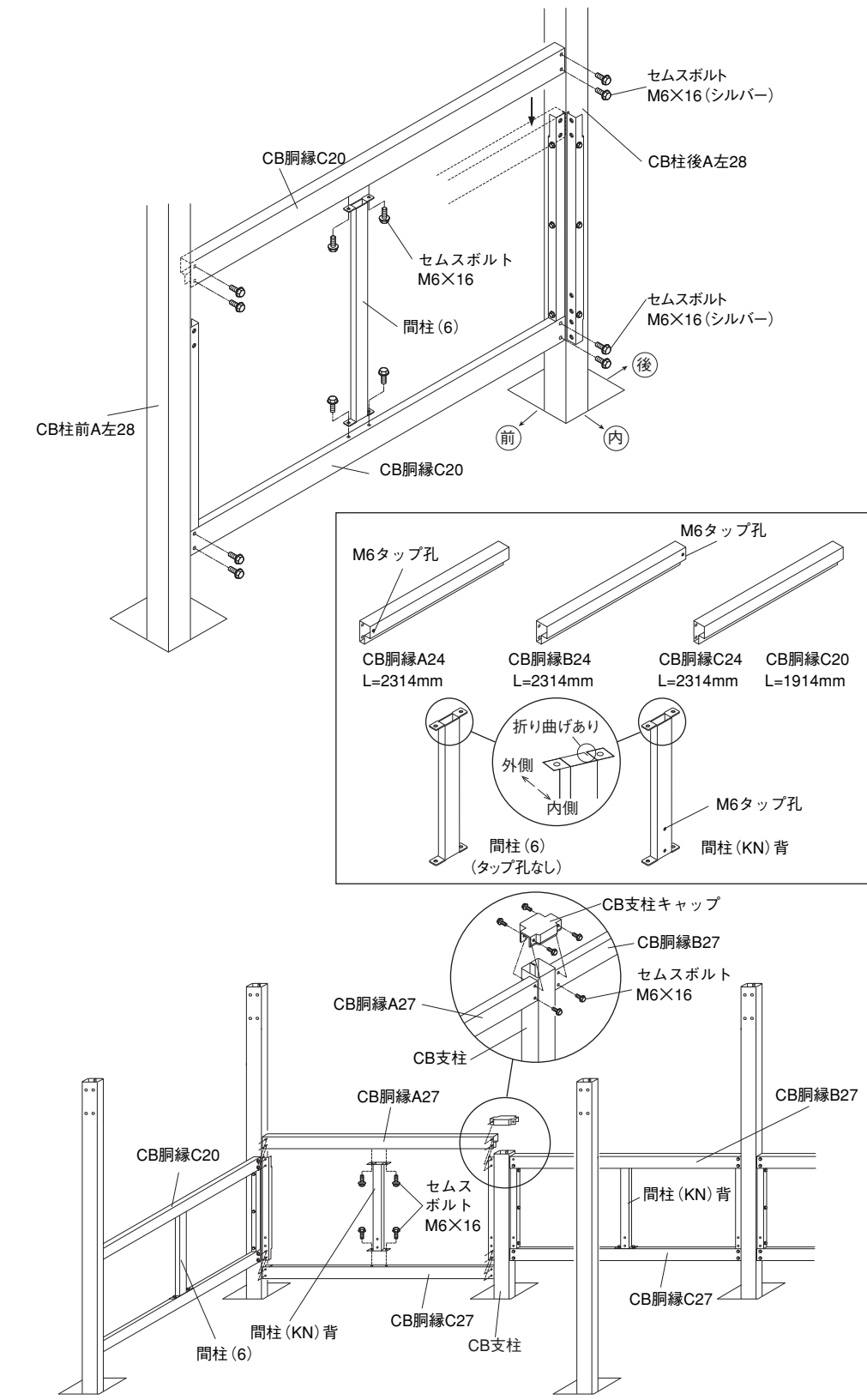


柱は自立しませんので、上図部の様に、
注意 倒れない工夫をしてください。



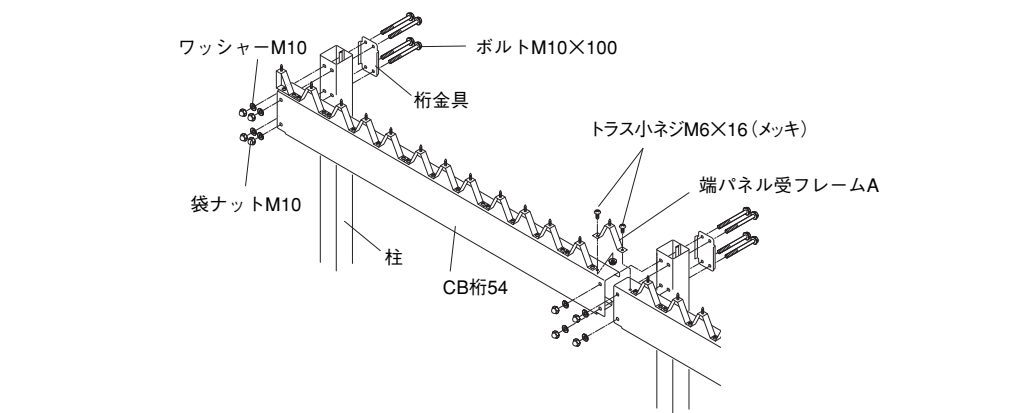
3 胴縁、間柱の取付

- ① 胴縁を額縁に取付けます。
- ② 間柱を胴縁に取付けます。
※額縁、胴縁には種類があります。
下記参照



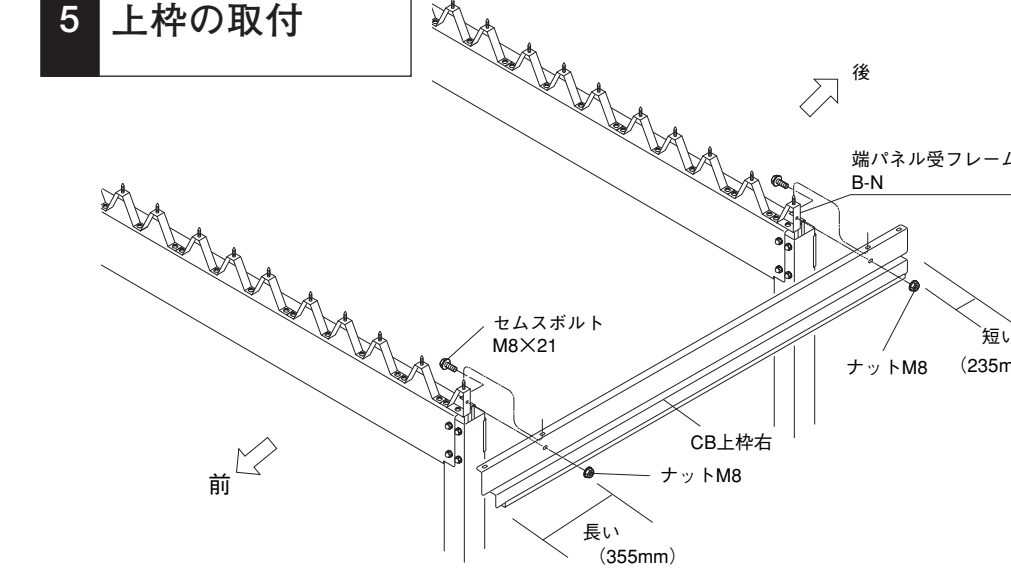
4 桁の取付

- 桁と桁金具を、柱に取付けます。
連結部には、端パネル受フレームAを取付けます。



5 上枠の取付

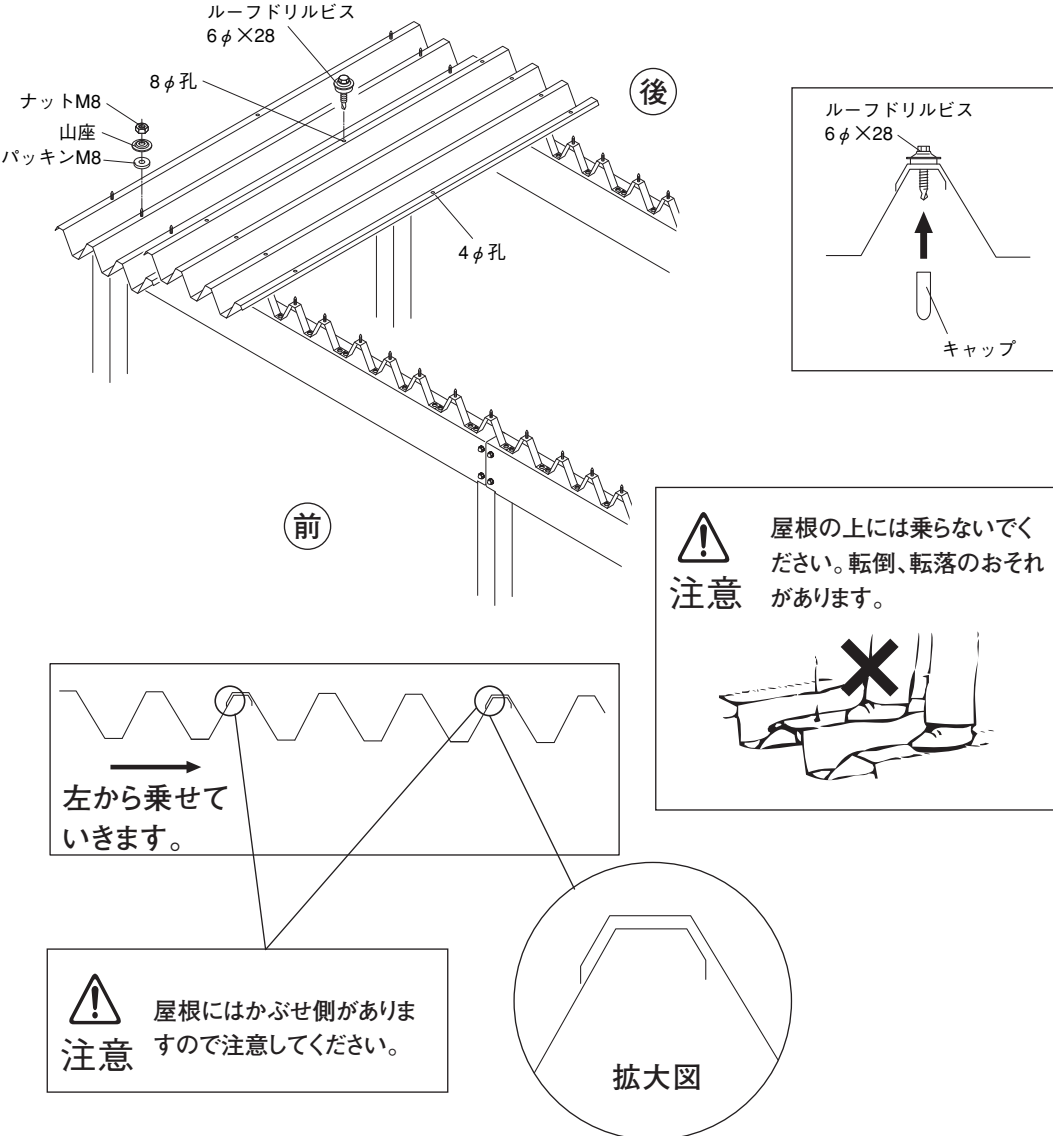
- 上枠を端パネル受フレームB-Nに取付けます。



6 屋根の取付け

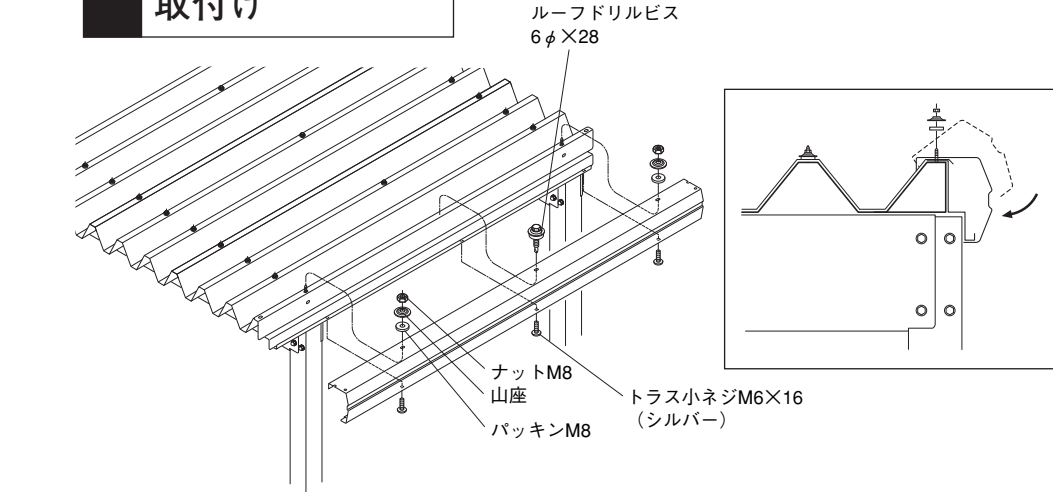
- 屋根を左から乗せていき、ナットで固定します。
屋根の重ね部にルーフトドリルビスを打ち込み、
下からキャップをかぶせます。ルーフトドリルビス
は桁間でガイド孔(4φ、8φ孔)があるとこ
ろに取付けます。
鉄粉は必ず除去してください。
(サビの原因になります)

- ※オプション 明り採り屋根を取付ける場合は、
14を参照してください。



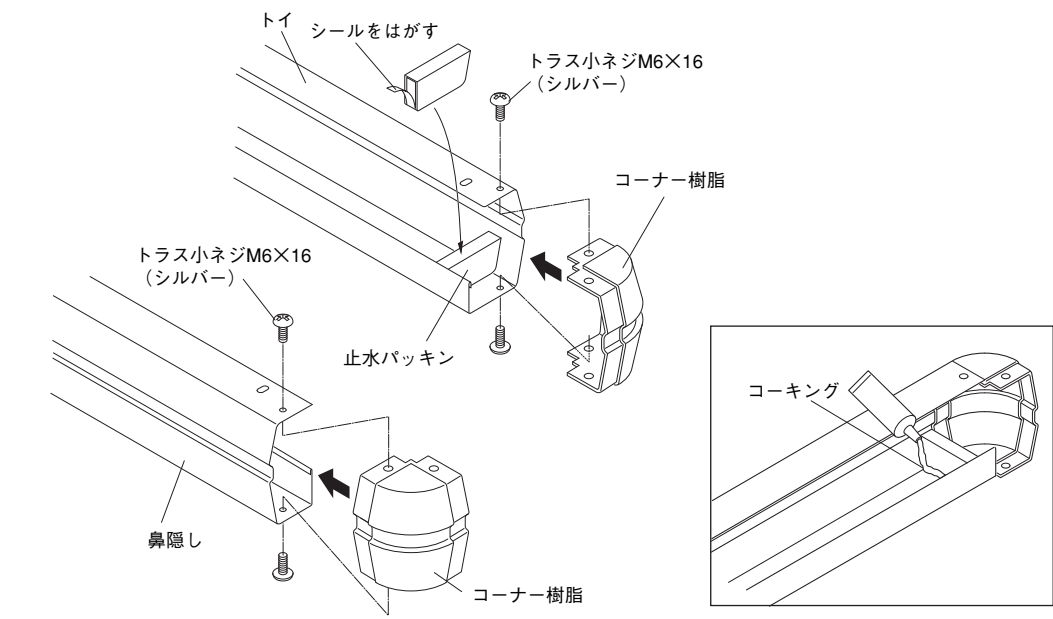
7 ケラバの取付け

- ケラバを図の様に上枠にかぶせる様、取付け
ます。



8 コーナー樹脂、 止水パッキンの取付け

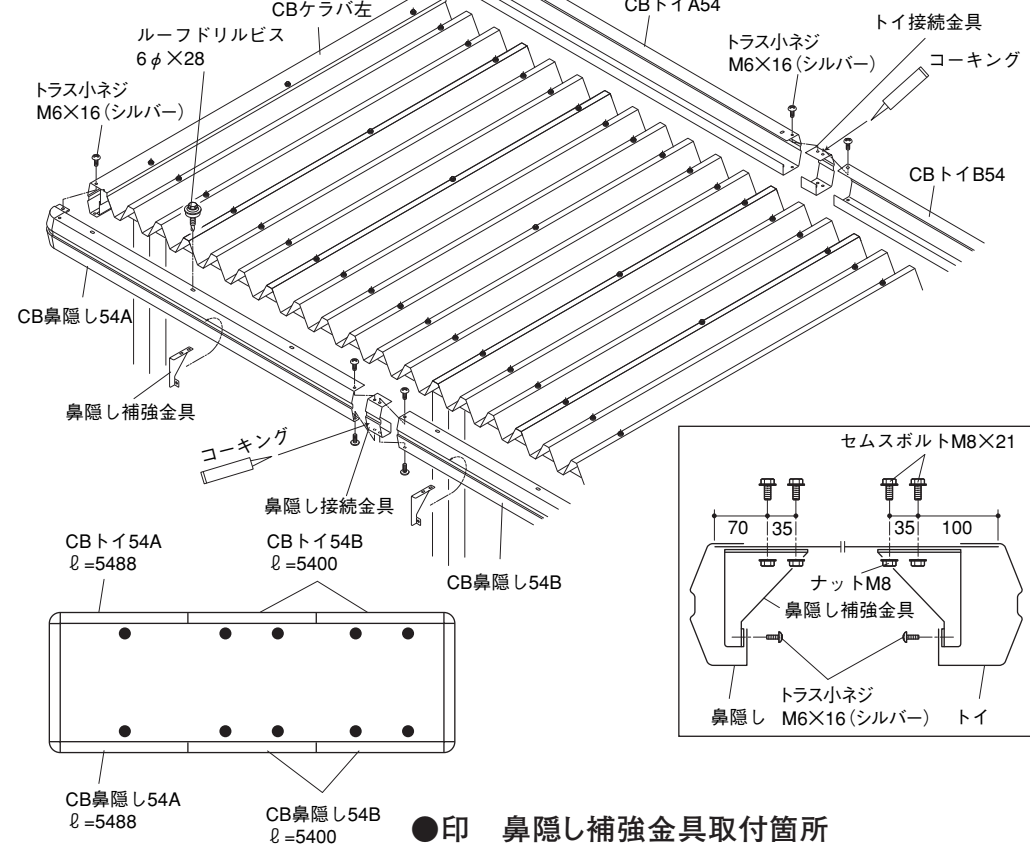
- コーナー樹脂を鼻隠し、トイのコーナー部に取
付けます。止水パッキンをトイの両端に貼り、
内側からコーキングを施します。
※鼻隠し、トイの配置は 9 鼻隠し、トイの取付け
を参照してください。



9 鼻隠し、トイの取付け

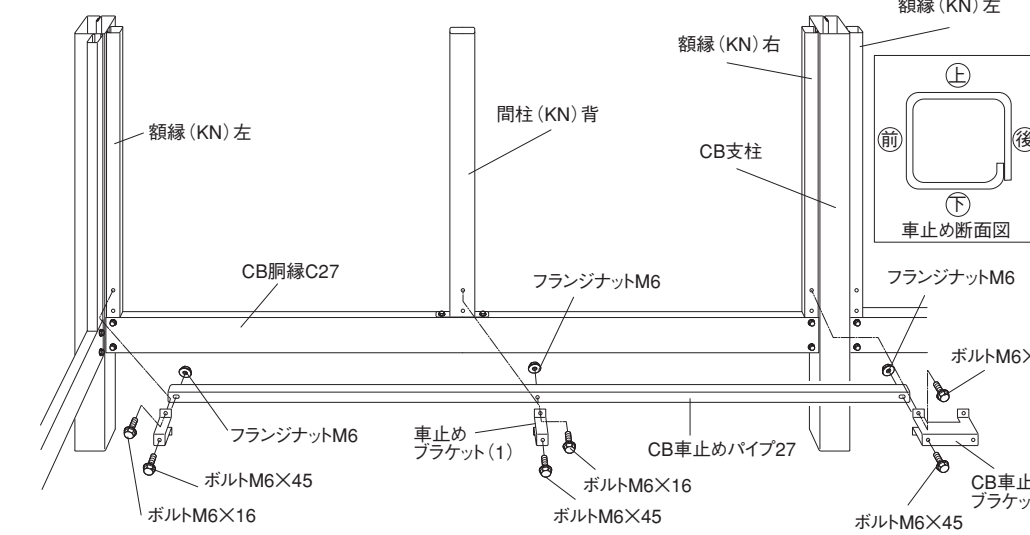
- ① 鼻隠し、トイをケラバ、鼻隠し接続金具、トイ
接続金具に取付けます。接続金具部にはコー
キングを施してください。
- ② 鼻隠し、トイ、鼻隠し補強金具を取付けます。
- ③ 屋根には、鼻隠し補強金具の孔に合わせて、
10φの孔加工をしてください。(下図参照)
- ④ 鼻隠し、トイをルーフトドリルビスで屋根に固定
してからキャップをかぶせます。
鉄粉は必ず除去してください。
(サビの原因になります)

- ※連結の場合、必ず正面から見て左にCB鼻隠し54A (CBトイ54A)を取付
てください。



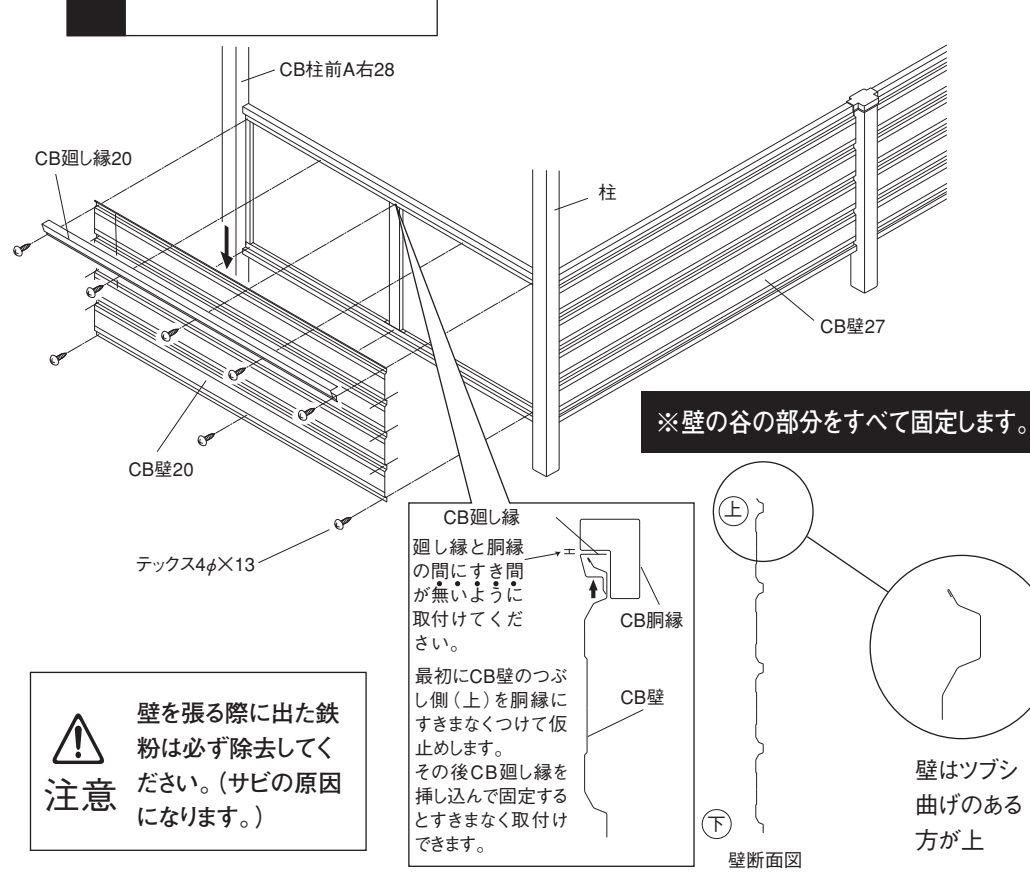
10 車止めパイプの取付け

- ① ブラケットを車止めパイプに取付けます。
- ② 車止めパイプを額縁 (KN) 左 (右)、
間柱 (KN) 背に取付けます。



11 壁の取付け

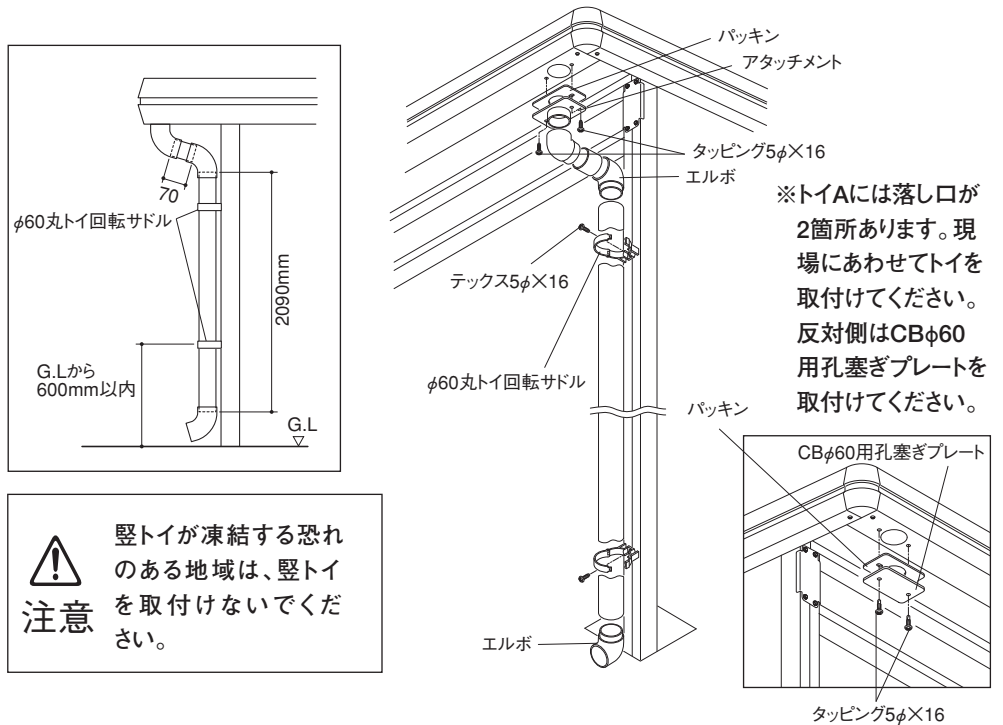
- 壁を外側から張り付け、廻し縁と一緒にテック
スで胴縁・額縁・間柱に固定します。



12 竖トイの取付け

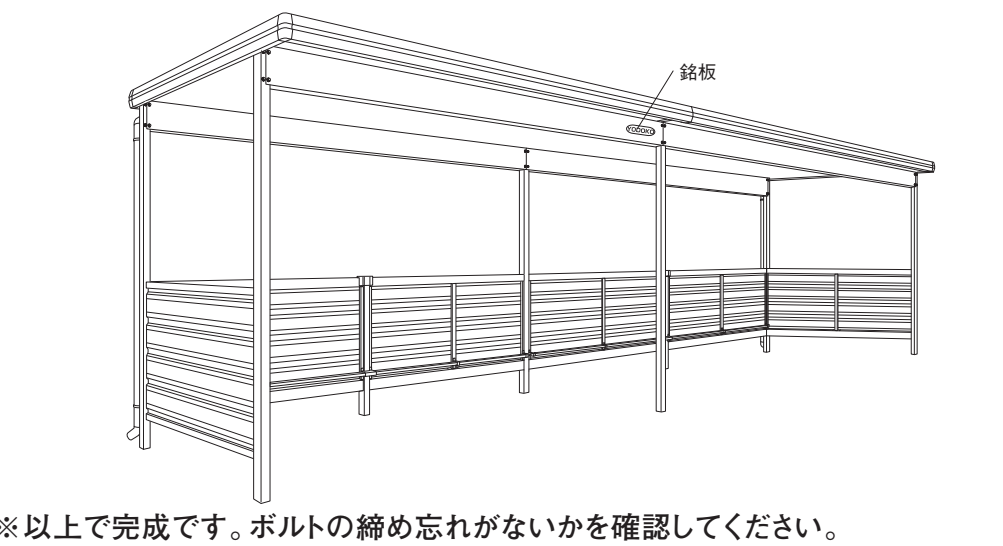
- 図の様に竖トイを取付けます。
部材の接合部には接着剤を塗布してください。

- ※パッキンはシールをはがしてください。



13 完成図

- 最後に銘板を貼り付け、柱をモルタルで
固定し、安全を確認してから、柱の支えはす
してください。



- ※以上で完成です。ボルトの締め忘れがないかを確認してください。

14 オプション 明り採り屋根

- 注意
●オプションの明り採り屋根がある場合、屋根の施工と同時に行ってください。
●明り採り屋根を施工する前に、表・裏面の保護フィルムを取り除いてください。
●明り採り屋根は、傷つきやすいため、取扱いには十分気をつけてください。
●明り採り屋根の取付けは、必ず両面にスチール製折板屋根を取り付けてから
行ってください。
●明り採り屋根とスチール製折板屋根の重ね部には、ルーフトドリルビスとT型ボ
ルトを使用してください。

- ※明り採り屋根に、下図の箇所に10φの孔を開けます。

